

令和7年度 第3回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
- 3 出席委員 山本 浜雄、内山 有香、加茂 里佳、佐藤 憲孝、山本 武志、
船越 こず恵、太田 かおり、石田 潤司
- 4 欠席委員 吉田 真譽、白柳 恵美
- 5 オブザーバー 加茂 俊武（浜松市市議会議員）
- 6 学 校 遠藤 健司（校長）、岡田 充弘（教頭）、宮下 友樹（主幹教諭）、
鈴木 小百合（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から山本会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) ふるさとキャリア教育について
- (2) 学校関係者評価について
- (3) 令和8年度学校経営方針について
- (4) 学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の山本会長から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) ふるさとキャリア教育について

山本会長から、12月にまちづくり協議会で発表した代表4グループの選考には委員のみなさんの意見も参考にさせていただいた、まちづくり協議会では実現できるものがあれば進めていきたいと検討中である、と報告があった。また、代表4グループについては教頭から詳細を説明し、委員から以下の発言があった。

- ・まちづくり協議会での発表を聞いた人がいたら詳細を教えてほしい。（加茂委員）
- ・発表を見に行ったが、4グループともとても良かった。どれか一つを選ぶのではなく、複数採用して一つの事業として実施できたら、という意見があった。ごみ拾いと関所クッキーを組み合わせるなど。お祭りの中でもできたら良いと思う。（内山委員）
- ・祇園祭でも出店できたら良いと思う。中学生の出店は大人も子供も喜ぶし、住民の地域愛をより育んでくれると思う。目が行き届き、管理しやすく安全が確保できる場所があれば出店もありだと思う。商工会として実現性はあると思うか。（佐藤委員）
→露天商に家の前の場所を提供するのは乗り気ではないが、子供たちなら可能という人がいるかもしれない。（山本武委員）
- ・分からないことだらけなので、みんなで情報を共有できると良いと思う。（加茂委員）
- ・実際に中学生が参加できるかは分からないけれど、まちづくり協議会でも参考にして検

討、支援していきたいと思う。(山本会長)

- ・ 6年前からホソ・フェスを参観しているが、生徒たちはプレゼンが本当に上手になったと思う。資料も素晴らしいし、堂々と発表していた。(山本会長)
- ・ 発表はどれも良かったので、特に良いものを選ぶという採点が難しかった。(石田委員)
- ・ お祭りの出店については夜なので子供たちに負担がない形で参加できると良いと思う。(石田委員)
- ・ 先日浜松市コミュニティ協議会があった。ホソ・トレの活動について他の地区の人たちから羨ましがられた。(山本会長)
- ・ 校長と語る会でも細中の生徒たちの地域愛について羨ましがられた。(太田委員)
- ・ 引き続きどんどんホソ・トレを充実させていってほしいと思う。今後も生徒たちが魅力ある細江のまちづくりに貢献してくれるのではないかと期待している。(山本会長)

(2) 学校関係者評価について

議長の指示により、主幹教諭から別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 「タブレットを十分活用できた」という項目が横ばいだが、どの程度使っているのか。(山本会長)
→ 本年度の途中から自宅へ持ち帰るようになった。ホソ・トレのまとめを家でやる子もいた。ICT 機器を使うことが年々増えている。タブレットで電卓アプリを使うなど日常的にツールとして使っている子が増えている。(主幹教諭)
- ・ 毎日持ち帰るのか。(佐藤委員)
→ 自宅で充電するようになったので基本的には毎日持ち帰る。(主幹教諭)
- ・ 破損、紛失したらどうなるのか。(山本会長)
→ 修理は浜松市で行っている。紛失については指導している。(主幹教諭)
- ・ 学校と家のタブレットがクラウドで繋がっていれば持ち帰る必要がないのではと思う。(佐藤委員)
→ クラスルームはグーグルのアカウントがあれば自宅でも繋がられる。ただ、SNS 等のトラブルも心配。現在教員もいろいろ勉強して良い方法を検討中である。(主幹教諭)
- ・ 紙の教科書はいらなくなるのか。(佐藤委員)
→ 紙媒体の良さ、手を動かすことももちろん大事なので ICT 機器とどう使い分けていくか検討が必要である。(主幹教諭)
- ・ 保護者と学校運営協議会委員との意見の乖離がある項目がいくつかある。以前から同じ意見があると思うが、どうなのか。(内山委員)
→ 委員の方は学校に来たり、教職員と話したりする機会が多いから、学校教育活動に関してより理解されているのだと思う。(主幹教諭)
- ・ 生徒と担任とは信頼関係があると言っていたが、保護者も担任とメールなどでやりとりできるツールはあるのか。(内山委員)
→ さくら連絡網で保護者から連絡がくることもある。それを見て担任からすぐ連絡するようにしている。(主幹教諭)
- ・ 家庭と連携するとあるが、保護者が行事以外で学校と関わることはあるのか。(山本会長)

→行事以外では特にはない。(主幹教諭)

- ・PTA 役員をするなど学校と関わっている保護者以外、学校が何をやっているのか分からないと思う。ホソ・トレについても関わってくれる人がたくさんいることを保護者は知らないと思う。(佐藤委員)
- ・評価項目が分かりづらいと思う。どこからが「地域に開かれている」なのか曖昧。だから保護者は真ん中の評価にするのではないか。全体的には高評価だと思う。(石田委員)
- ・特別悪い評価もなかったので来年度にもまた期待している。(山本会長)

議長の指示により、学校いじめ防止基本方針について、主幹教諭からもう少し詳しく説明し、委員からは以下の発言があった。

- ・3年生が0ということは、人間関係が良いということなのか。(山本武委員)
→学年が上がるにつれて人間関係の成長があるので減ってきていると思う。(主幹教諭)
- ・いじめの定義は何か。(山本武委員)
→本人がいじめと感じればいじめ。感覚として、「～な気がする」という子が増えている。なにげなく言われた言葉でいじめと感じる子もいる。ただ、細江中は教員が生徒に本当によく寄り添っていると思う。(主幹教諭)
- ・直接的ではなく嫌だと感じているだけで先生に相談できる環境というのはすごいと思う。先生方が真摯に寄り添っているということだと思う。(船越委員)
- ・生徒との関係作りがきちんとできている細江中の先生はすごいと思う。(太田委員)
- ・いじめ防止の基本方針は浜松市内の学校はすべて同じなのか。(佐藤委員)
→学校ごとに少し違うが、基本的には同じ。(主幹教諭)
- ・細江中には大きないじめがなかったという良い評価だと思う。(山本会長)

(3) 令和8年度学校経営方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき来年度の学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・AIの概要版は他の学校でも同じような形で出せるのか。(佐藤委員)
→同じ形で出せる。(校長)
- ・良い意味でも悪い意味でも主観が入らず同じ基準で出す評価だから良いと思う。基準が分かりやすいと思う。(佐藤委員)
- ・塾へ行っている子は多いのか。(山本会長)
→学年が上がるにつれて増えてきているが、そこまで多くはないと思う。勉強面では課題もあるが、細江中にはいろいろな学びの中で人間性を高めていくことができる良い環境が築けていると思う。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 学校運営協議会の自己評価について

議長から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・だいたい良くできたと思うが、発信についてはまだ足りないと感じた。(山本会長)

- ・ 職場体験は残念ながらインフルエンザで中止となってしまったが、細江中学校の生徒のためにコーディネーター3名が活動してくれた（50～70件）。（山本会長）
- ・ 大きい企業はコンプライアンスの関係で、今後職場体験をお願いするのはなかなか難しいかもしれない。（佐藤委員）
- ・ 十分な情報発信について、どこまでが十分な情報発信というのかが分かりづらい。守秘義務もあり言えることと言えないことがある。学校運営協議会として、HPやブログなどでは情報発信をしているが、それ以上に個別に聞かれても困る。（佐藤委員）
→学校運営協議会としての視点で「発信できていたか個人としてはどう思うか」と聞かれているのだと思う。（内山委員）

その他連絡事項等

- ① 夢育やらまいか事業CS加算分の報告
教頭より詳細について報告があった。
- ② 令和8年度学校運営協議会の日程説明
教頭より来年度の日程について説明があった。
- ③ 部活動地域移行についての報告
校長より説明があった。前回から特に進展はないが、今後の選択肢として、学校の部活、はまクル、他のクラブに入る等いろいろある。今後どうなっていくかは分からないが、子供たちが残念な思いをしないようにしていきたいと思う。